

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	鏡視下手術のアプローチ方法の違いによる手術成績や疼痛の評価
受付番号	1137
当院の研究責任者（所属）	片倉雅文（産婦人科）
研究者等（所属）	江澤正浩、中熊正仁、波平制士、井上亜結実、森つばさ（産婦人科）
研究期間	2023年7月28日～2025年3月31日
調査データ対象期間	2023年7月23日～2025年3月31日
本研究の目的	婦人科鏡視下手術には、腹壁にアクセスポートを留置し手術を行う従来の腹腔鏡手術、ロボット支援下腹腔鏡手術のほか、経膈アプローチによる腔式自然開口経管内視鏡手術などが存在する。これらの異なる外科的アプローチの結果を比較した文献も存在するが、手術方法やアプローチの適切な選択基準は未だ存在せず、それぞれの最適な適応や使い分け、メリット・デメリットは、まだ十分に理解されていない。本研究は、手術方法とアプローチの組み合わせごとの手術時間、出血量、術後疼痛、合併症の頻度などの手術成績を評価する。
対象となる患者さん	調査データ対象期間に、婦人科鏡視下手術を行った患者さん
利用する試料・情報	年齢、身長、体重、基礎疾患、主訴や手術に至った疾患、術式、手術時間、ロボット支援下手術であればコンソール時間、使用機材、出血量、摘出検体重量、術者、術後血液検査結果やバイタルサインのデータ、術中・術後合併症、頓用の使用薬剤、術後疼痛、退院後1か月の疼痛、創部に対する満足度
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんの特定につながる個人情報は削除します。研究成果は学会や学術誌等で発表する可能性がありますが、その際は患者さんを特定できない形で行います。
本研究の資金源（利益相反）	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
倫理審査等の経過	第261回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2023年8月4日
オプトアウト期間	<input type="checkbox"/> 公開日から1か月 <input checked="" type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から1か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111（代表） 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科